

農業者の「豊岡グッドローカル農業の取組み」実践と 農業者以外の実践例



今春、市内の全農業者にアンケートを配布し、どのような「豊岡グッドローカル農業の取組み」を実践しているか伺いました。下表で紹介している実践例を参考に、皆さんもどのように「農」と関わり、支えることができるか、考えてみてください。

| 12要素 | | 農業者の主な実践例 | 農業者以外の実践例 |
|------|------------|---------------------------------------|--------------------------------|
| 環境 | 1 自然との共生 | ▶減農薬による農作物生産 ▶有機・無農薬での農作物生産 | ▶有機農産物の消費 ▶生きもの調査への参加 |
| | 2 地域の多様性 | ▶たじまピーマンの生産 ▶八代オクラの生産 | ▶地域特産物の消費 ▶地域の伝統料理の普及拡大 |
| | 3 美しい風景 | ▶畦畔 ^{けいはん} の草刈り ▶適切な農地の管理 | ▶地域内の草刈り ▶農村風景の写真・映像を発信 |
| | 4 安全な暮らし | ▶有害鳥獣による被害対策 ▶多面的機能支払事業への参加 | ▶農地周辺の草刈りや水路の泥上げへの参加 |
| 経済 | 5 誇りと責任 | ▶減化学肥料・減農薬での生産 ▶「コウノトリの舞」認証取得 | ▶地域の安全安心・高品質な農産物の消費 |
| | 6 持続的な経営 | ▶農家同士の連携 ▶経営にかかわる研修参加 | ▶農作業ボランティア ▶住みやすい地域づくり |
| | 7 先進技術の活用 | ▶ドローンの活用 ▶営農支援ソフトの導入 | ▶先進的な農業の魅力発信 ▶スマート農業技術の開発 |
| | 8 地域資源の循環 | ▶半農半Xなど兼業人材の活用 ▶農福連携の取組み | ▶地域農業とその他産業や都市住民などをつなぐサポート |
| 社会 | 9 心と身体の健康 | ▶自家菜園で野菜を栽培 ▶農産物直売所で販売 | ▶市内農産物の消費 ▶市民農園の利用 |
| | 10 対話と交流 | ▶地域住民との交流イベント運営 ▶農業体験サービスの提供 | ▶農業体験サービスの利用 ▶都市住民との交流機会の企画 |
| | 11 魅力的な仕事 | ▶ファン付き作業着・アシストスーツ導入 ▶短期アルバイトの雇用 | ▶農業の魅力を子供に伝達 ▶働きやすい農業の環境づくり |
| | 12 世界にオープン | ▶但馬外の親戚、友人へ農産物発送 ▶SNS、マスメディアでの情報発信 | ▶農業、農村、農産物の魅力を情報発信、アピール |



※アンケートの有効回答数は4,086件。結果の詳細は、下記の市ホームページ「農林水産業」で本年度中に公開予定。

市ホームページの「農林水産業」のページが新しくなりました!

トップページの「かんたん検索」または「事業者向け情報」からアクセス



公式SNS等で、豊岡の農業、農村、食の魅力を発信中!

★ Facebook、Instagram、Twitter

豊岡グッドローカル農業



☎ 23-1127

✉ メール nourin@city.toyooka.lg.jp

豊岡グッドローカル農業

「農」との関わり方を考えよう！

私たちは、誰もが「農」と関わりながら暮らしています。食べものの消費者として、農村での生活者としてなど、さまざまな関わり方があります。農業は、担い手不足や気候変動、昨今では燃料費・資材費の高騰など、厳しい状況が続いています。私たちの暮らしに必要な「農」を、私たちはどのような関わり方で支えることができるのでしょうか？

本市が描く農業の将来像「豊岡グッドローカル農業」は、“みんなで農業をより良くしていくこと”を目指しています。一人一人が自分なりの方法で「農」と関わり、支える行動をとることで、持続可能で幸せを感じる社会の実現に一步ずつ近づきます。



豊岡農業×都市部学生

学生の皆さんが映像制作活動や調査活動を実施

神戸学院大学現代社会学部現代社会学科の岡崎・日高ゼミの皆さんが、チームに分かれて地域活性化に取り組む「たじま未来プロジェクト」。そのうちの1チームが、但東地域で農業や地域づくりに関わる方などに取材や撮影を行い、但東の魅力を発信する動画を制作しました。



▲但東地域を取材する神戸学院大学の学生と、取材に答える有限会社あした・霜倉さん

▶神戸学院大学の学生が制作した動画「何も無いが愛を生んだ～日本の田舎を目指す但東町」



また、大阪大学人間科学部国際協力学ゼミの皆さんが、4テーマに分かれて本市の地域振興に関する調査実習を2泊3日で実施。農業分野のテーマでは生産者への取材やおおぞら市場（新川野外市場）での農産物販売体験、市場利用者のインタビュー調査などを通じ、農産物の生産、販売、消費について考察しました。



▲豊岡市地域おこし協力隊員の森本莉永さん、中田樹さんが立ち上げた団体COARSが現地コーディネートを担当



▲農業生産者を訪問調査する大阪大学の学生と、お石で農業を営むveggie de +・小川さん

問合せ：コウノトリ共生部 農林水産課 グッドローカル農業推進室